

チケット料金 バウスシアター会員は、Aプログラム1,300円の作品は1,000円、Bプログラム1,500円の作品は1,300円でご覧いただけます。

Aプログラム 前売・当日 各¥1,300 <small>「エレファントカシマシ」「ライブテープ」「BLUE」「ウイズネイルと僕」「さよならケーキとふしぎなランプ」を除く</small>	Bプログラム & 「ライブテープ」、 「BLUE」 前売・当日 各¥1,500 <small>「リヴァイアサン」「アトムス・フォー・ピース」およびライブを除く</small>
「リヴァイアサン」、 「アトムス・フォー・ピース」 前売・当日 各¥1,800	「エレファントカシマシ」、 牧野貴「Phantom Nebula」 前売・当日 各¥2,000
Hair Stylistics 無声映画ライブ、湯浅湾ライブ 前売・当日 各¥2,500	大友良英 爆音ユニット「コア・アノード」ライブ ゴジラ伝説 LIVE2014+「わんぱく王子の大蛇退治」 直枝政広ライブ+「喜劇 とんかつ一代」 前売・当日 各¥3,000
マーク・リポーター「紐育の波止場」ライブ マーク・リポーター「街の灯」ライブ 「湯浅湾祭2014」5/17(土)1日通し券 前売・当日 各¥6,000	3回券：¥3,000 会期中、バウスシアター窓口にて販売 A・Bプログラムの、1,300円または1,500円の上映にご使用いただけます。 【当日券について】3回券・当日券の整理番号は、連日10:30より、当日分を受付・発売致します。

『さよならケーキとふしぎなランプ』 特別前売鑑賞券：1,500円
 『ウイズネイルと僕』 特別前売鑑賞券：1,300円
 特別前売鑑賞券はバウスシアター窓口にて発売中
 当日：一般1,800円/学生1,500円/高校生以下・シニア・会員1,000円

Cプログラムの入場料金は公演日によって異なります。プログラムページをご確認ください。

◎A・Bプログラム 前売券取扱 ・インターネット購入：e+イープラス http://eplus.jp/bakuon-bb/ ・店頭購入：バウスシアター窓口、全国のファミリーマート店内端末[Fami ポート]、ディスクユニオン(新宿本館、新宿シネマ館、お茶の水駅前店、吉祥寺店) ・販売期間等詳細はHPでお知らせいたします。	◎Cプログラム 前売券取扱：チケットぴあ【Pコード228-177】 ・開場/開演時間、入場料金は公演日によって異なります。プログラムページをご確認ください。 ・【★】の公演は、メールでのご予約も承ります。 ご予約方法： liveatbaus@gmail.com まで件名を「(出演者名) 予約希望」とし、お名前、ご連絡先、枚数をご連絡ください。
--	--

◎各回15分前開場 ◎整理番号順でのご入場 ◎全席自由 【当日券について】3回券・当日券の整理番号は、連日10:30より、当日分を受付・発売致します。
 ※ただし、Cプログラムの開場時間、入場方法については、日により異なります。※開場時間を過ぎると整理番号は無効となり、お立ち見となる可能性もあります。お時間に余裕をもってお越しください。特別興行のため、曜日割引、映画サービス等は、各種割引サービスの適用外となります。※23:00を越える回は18歳未満の方の入場不可。

【上映に関するお問合せ】 吉祥寺バウスシアター ☎0422-22-3555 www.baustheater.com 【映画祭全般に関するお問合せ】 boid ☎03-3356-4003 www.boid-s.com

【最新情報はこちら】 爆音映画祭 www.bakuon-bb.net www.facebook.com/bakuonfilmfes https://twitter.com/boid_bakuon

主催：爆音映画祭実行委員会 企画・製作：boid、吉祥寺バウスシアター 後援：武蔵野市
 協力：PFF、TRASH-UP!!、アテネフランセ文化センター、アンスティチュ・フランセ東京、大人計画、カナザワ映画祭、ディスクユニオン、トムス・キャビン、マーメイドフィルム、ビーター・バラカン、大寺真輔、近藤順也、二階調サトシ、湯浅学、東京フィルムセンター、RHPS FC LIP'S、biobipatata、e+イープラス



吉祥寺バウスシアター
 吉祥寺駅北口(中央口) / サンロード街 / 西友先左側
 tel.0422-22-3555
<http://www.baustheater.com>



バウスシアターのすべての上映・上演作品年表収録。ムサシノ映画劇場から吉祥寺バウスシアターへ、約65年の歴史を1冊に。
吉祥寺バウスシアター／映画から船出した映画館 4月26日発売 1,500円+税 / 制作・発売：boid

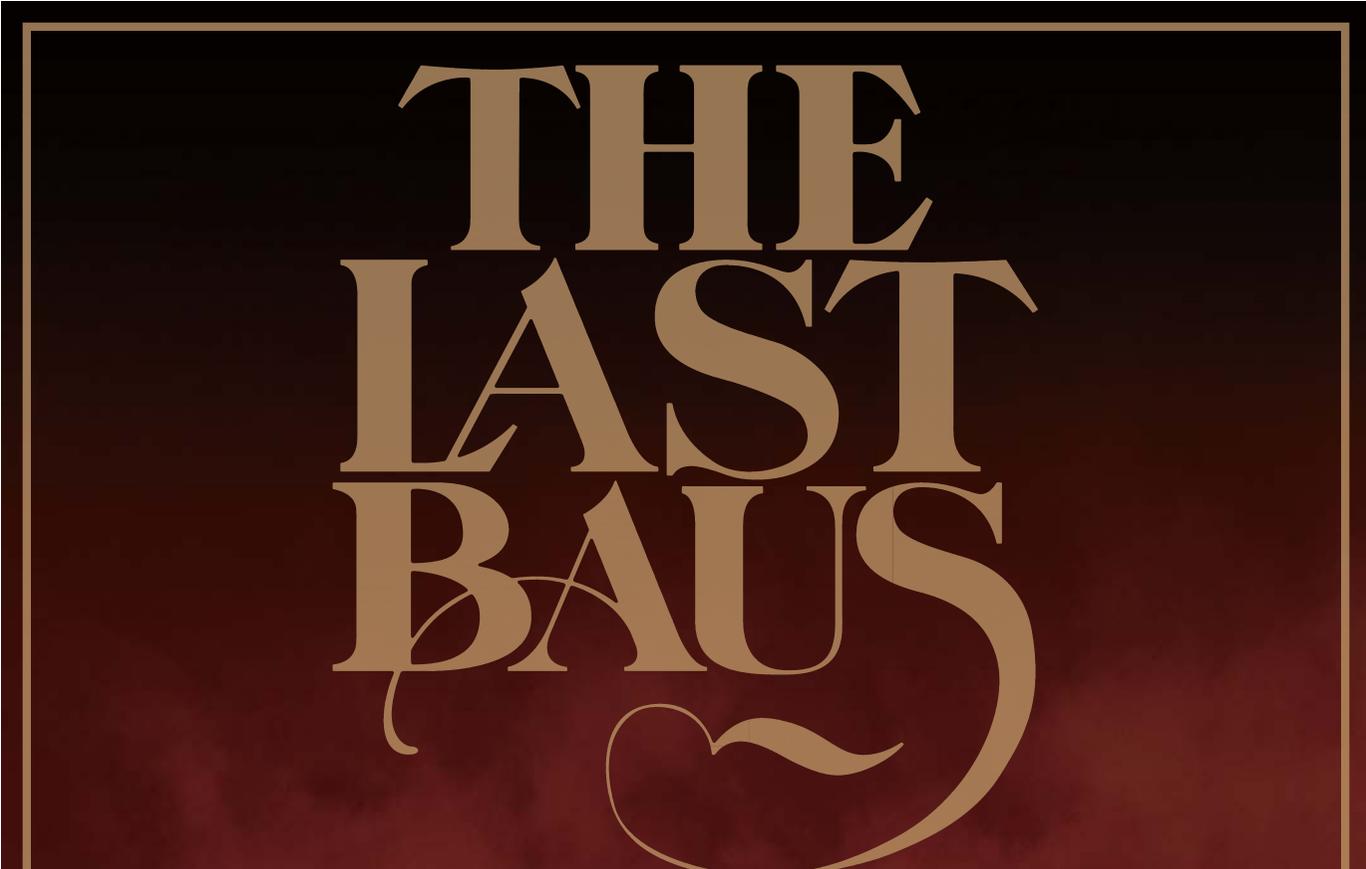


ポケットの中の握り拳
—マルコ・ベロッキオ特集—
 巨匠ベロッキオの衝撃のデビュー作を公開!
 5月、シアター・イメージフォーラム
配給：エス・エス・サロウ

シャウト / 出発 / ムーンライトニング
 イージー・スコリモフスキの日本未公開作を含む3作品連続上映
 8月、シネマート新宿 / 9月、シネ・ヌーヴォ
提供：マーメイドフィルム 配給：boid

フリップ・ガレル 最新作
ジェラシー
 世代を超えて繰り返される愛の物語、待望のロードショー
 今秋 シアター・イメージフォーラム他 配給：ビーター・エンド/boid

バウスシアター1階のLido Cafeがイベント・スペースに変身!
 ラスト・バウス期間中、Lido Cafeにてさまざまな企画、イベントが開催されます。
 SHOHEI×河村康輔による噂のユニット、二階調サトシのプロデュースによる展示の数々、三鷹の水の中書店らによる「ラスト・バウス吉本市」、そしてもちろん、爆音映画祭恒例の「アナログばか一代」。詳細は公式HPなどでお知らせします!



さよならバウスシアター、最後の宴



4.26(sat)～6.10(tue) 吉祥寺バウスシアター

Aプログラム：バウスを巡る映画たち 4月26日(土)～5月16日(金)
 Bプログラム：第7回爆音映画祭 4月26日(土)～5月31日(土)
 Cプログラム：LAST BAUS / LAST LIVE 6月1日(日)～10(火)

爆音映画祭 www.bakuon-bb.net www.facebook.com/bakuonfilmfes https://twitter.com/boid_bakuon

後援：武蔵野市
 photo©Yuko Matsuda

Aプログラム「バウスを巡る映画たち」

エル・トボ

新作「アリァティのダンス」やドキュメンタリー映画「ホドロフスキーのDUNE」の日本公開が2014年初夏に控える同監督作品もバウスの定番。古くは1987年、近年は2013年に上映。1969年/メキシコ/123分/BD 提供:ハビネット 監督・脚本:音楽:出演:アレハンドロ・ホドロフスキー ©ABKCO Films. All rights reserved. Reprinted by permission.

ホドロフスキー監督によるトークショー有



●4/26(土)15:30

鉄コン筋クリート

2006年12月23日公開作品。吉祥寺に本社を構えるアニメーション会社スタジオ4℃が製作。バウスでは他の4℃作品『アリーテ姫』『マインド・ゲーム』『Genius Party』なども上映した。2006年/日本/111分/35mm 提供:アズミック・エース 監督:マイケル・アリアス/原作:松本大洋 声の出演:二宮和也、蒼井優、伊勢谷友介 ©2006 松本大洋/小学館、アニメックス、アズミック・エース、Beyond C



●4/27(日)14:00 ●4/29(火祝)13:00

吉祥寺の朝日奈くん

原作は小説家・中田永一。2011年3月の震災直後、静まり返った吉祥寺を中心に撮影された。バウスでもロケが行われ従業員もエキストラ出演した本。2011年/日本/91分/BD 提供:スローラーナ 監督:加藤章一/原作:中田永一 出演:桐山隼、星野真里、栗潤 ©2011 Eichi Nakai /「吉祥寺の朝日奈くん」製作委員会



●4/29(火祝)11:00 ●4/30(水)14:00

the fighting men's chronicle

エレファントカシマシ デレク・ジャーマン監督 エレカシは92年2月5daysライブやドキュメント映画「扉の向こう」を初上映したのがバウス。山下監督はデビュー作「だんてん生活」から「もらとりあむタマ子」まで数多く特集上映を行った監督のひとつ。2013年/日本/123分/BD 協力:エムオン・エンタテインメント

フェイス ミュージックエンタテインメント ユニバーサル ミュージック 監督:山下敦弘 出演:エレファントカシマシ ほか



●5/2(金)16:40

タカダワタル的

2005年4月30日公開作品。かつて吉祥寺の顔と言えどこの人だった。惜しくもバウスシアターの公開初日の4日前に高田渡が逝去。2003年/日本/65分/35mm 提供:アルタミラビクチャーズ 監督:タナダユキ 出演:高田渡、柄本明、松山幸一、中川イサト ©2003アルタミラビクチャーズ



●4/26(土)11:30 ●5/1(木)16:00

アイデン&ティティ

2003年12月20日公開作品。中央線沿線のユースカルチャーを象徴する1本。初日の舞台挨拶付き上映の切符を求める長蛇の行列を整理するためバウスの屋上を開放したことも。2003年/日本/118分/35mm 提供:東北新社 監督:田口モロロ/原作:みうらじゅん/出演:峯田和伸、麻生久美子、中村獅童、大森南朋、マギー ©「アイデン&ティティ」製作委員会



●4/27(日)16:20 ●5/1(木)13:30

シド・アンド・ナンシー

これまでアレックス・コックスの作品はすべて上映してきたバウスシアター。08年には「サーチャーズ2.0」を引っ掛け来日した監督と俳優・田口モロロのトークイベントも開催した。1986年/イギリス/113分/35mm 提供:アダンソニア 監督:アレックス・コックス 出演:ゲイリー・オールドマン、クロエ・ウエブ ©2011 EA /「シド&ナンシー」製作委員会



●4/29(火祝)15:30 ●5/1(木)11:00

ライブテープ

2009年12月26日公開作品。2008年末にバウスで開催した「ホットファズ」公開記念のトークショーゲストで来館した監督が帰郷道に本作を想起した。バウスなくては誕生しなかったかもしれない作品。2009年/日本/74分/DV-CAM 提供:SPOTTED PRODUCTIONS 監督:松江哲明/音楽:前野健太/出演:前野健太、長澤つぐみ ©Tip Top 2009



●5/1(木)20:35 ●5/14(水)17:00

注目すべき人々との出会い

1984年6月公開作品。原作者クルジェフの神秘思想を国内外多くの文化人・ミュージシャンが支持したことも相まって異色作ながらも大ヒットを記録。その後の上映機会が少ない幻の1品。1979年/イギリス・アメリカ/110分/35mm 提供:アダンソニア 監督:ピーター・ブルック 原作:G.L.クルジェフ/出演:ドラガン・マクシモヴィッチ、テレンス・スタンプ、ウォーレン・ハッチェル ©1986 by REMAR PRODUCTIONS, INC.



●4/26(土)13:05 ●4/28(月)11:00

グーグーだって猫である

2008年9月6日公開作品。井の頭公園、サトウのメンチカツ、ハーモニカ横丁から桜園かずおまで、これでもか!というくらい吉祥寺の名所が登場。これでもか!というくらい吉祥寺の名所が登場。2008年/日本/116分/35mm 提供:アズミック・エース 監督:犬童一心/原作:大島弓子 出演:小泉今日子、上野樹里、加瀬亮 ©2008「グーグーだって猫である」フィルム・コレクティブ



●4/28(月)13:20 ●4/30(水)11:30

あんてるさんの花

「吉祥寺で映画を撮ろう」をスローガンにした映画製作会社・武蔵野映画社による地ムービー第三弾。バウススタッフも武蔵野市や市内商業施設など積極的にアプローチし町興しに貢献。2012年/日本/93分/BD 提供:武蔵野映画社 監督:宝来忠昭 出演:小木茂光、徳秀典、佐藤めぐみ、田中美里 ©2012 EA /「あんてるさんの花」製作委員会



●5/2(金)14:20

BLUE ブルー

デレク・ジャーマン監督「エンジェリック・カンパセーション」(アップリンク配給)を本邦初公開したのがバウス。同監督の特集上映の際には主演女優としてティルダ・スウィントンが来館したことも。1993年/イギリス・日本/75分/35mm 提供:アップリンク 監督:デレク・ジャーマン ナレーション:ジョン・クエンティン、ナイジェル・テリー、ティルダ・スウィントン ©1993 BASILISK COMMUNICATIONS ©1994 UPLINK CO.



●5/8(木)21:00 ●5/20(火)14:00

THE LAST BAUS × TERATOTERA 10×10〜映画と映像と〜

現代美術家10名による映像とアートを巡る全て新作の短編集。中央線アートプロジェクト TERATOTERAとバウスのコラボレーションも3回目にしてこれで見納め。2014年/日本/100分/BD 協力:TERATOTERA/東京文化発信プロジェクト 参加作家:泉太郎、井出賢嗣、大木裕之、小島拓郎、瀧山啓輔、柴田祐輔、鈴木光、地主麻衣子、山本篤、和田昌宏 上映後、参加作家と宮沢章夫(演出家・作家)によるトークショー有



●4/27(日)11:20

書を捨てよ町へ出よう

いつの時代も世を問わず寺山修司の作品は受け入れられる、とはバウス社長の弁。番組編成に行き詰った際は「げんかつぎ」に寺山作品を多く上映したことがあった。1971年/日本/138分/35mm 提供:東宝 監督:寺山修司 出演:佐々木英明、斎藤正治、小林由起子、平泉征 ©1971 テレキマワーナー/ATG



●4/28(月)15:45 ●5/2(金)11:30

あまっちょろいラブソング

2010年9月4日公開作品。宮田宗吉監督の商業映画デビュー作「バカバカソング」を上映したのがきっかけで本作の製作がスタート。インディペンデントながらもバウスで独占公開した。2010年/日本/97分/BD 提供:武蔵野映画社 監督:宮田宗吉 出演:下石奈緒美、山中崇、小林且久、久住昌之



●4/30(水)16:00

【PFF(ぴあフィルムフェスティバル)特集】

バウスシアターでは、PFFとの共催企画がたびたび行なわれた。88年の夏の「ALL THAT PFF / PFF10年の全てを見せる12日間」、89年春の「インディーズ・スパージャム'89」では、売り出し中の若手監督たちの作品がバウスに勢揃い。バウスとPFFとの共催による、「オランダ映画祭」、「カナディアンニューシネマ」、「UK90 プリティッシュ・フィルム・フェスティバル」、「大インド映画祭」などでは、貴重かつ華やかで賑やかな映画の数々がバウスのスクリーンを彩った。そんなPFFの思い出を込めて、PFFスタッフによるセレクションの7作品を。

ピクニック

1993年度PFF入選作品。ミュージシャンを目指しながら気楽に過ごす兄弟の元に、突如現れた若い女性が巻き起こすドラマ。奥原監督はバウスシアターの映写技師として勤務していた時代もある。1993年/日本/70分/8mm→デジタル 監督:奥原浩志/出演:榎井理子、近藤太郎、奥原浩志



●5/7(水)13:20

UNK

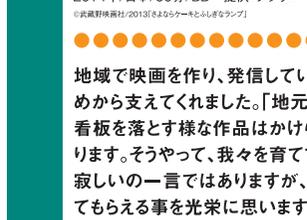
1979年入選の「UNK」は8mm撮影ながら多重露光などを駆使したSF。81年入選の「HIGH-SCHOOL-TERROR」はホラー映画ごっこがやがて本当のホラー映画になる構造をもつ秀作。1979年/日本/15分/8mm→デジタル 監督:手塚眞 出演:山本奈津子、UFO



●5/7(水)13:20

HIGH-SCHOOL-TERROR

1981年/日本/6分/8mm→デジタル 監督:手塚眞 出演:吉岡妙子、坂井くみ子



●5/7(水)13:20

突撃! 博多愚連隊

1978年度PFF入選作品。劇場用長編映画「高校大バニク」を世に送り出した直後に完成。故郷・博多を舞台に石井監督が挑んだバイオレンス・アクション。泉谷捨げるも出演。1978年/日本/67分/8mm→デジタル 監督:石井岳龍 出演:志水正義、八谷富夫

教訓 I

1981年度PFF入選作品。俳優・監督の利重剛が高校時代に制作した本作は大島渚の推薦を受けPFFに入選した。とある高校で突然徴兵制が敷かれ他校との戦争に発展する風刺ドラマ。1980年/日本/35分/8mm→デジタル 監督:利重剛 出演:鶴田雄次郎、加瀬文照、彦坂誠

ハイウェイ61

「ロードキル」や「ピクチャー・クレア」などで知られるカナダ出身のブルース・マクドナルド監督作品。ひょんなことから事件に巻き込まれた男女がニューオリンズを目指すロード・ムービー。1991年/カナダ/102分/35mm 監督:ブルース・マクドナルド/出演:ドン・マッケラー



●5/8(木)13:20

ダーク・スター

鬼才カーペンター監督による元祖SFサーフィン映画。1981年にPFFにて配給、本邦初公開となった。監督自身による作曲で随所に挿入されるテーマソング「Benson Arizona」が涙を誘う。1974年/アメリカ/83分/35mm 監督:ジョン・カーペンター 出演:ブライアン・ナレド、ドレ・パビッチ



●5/9(金)13:20

ウィズネイルと僕

映画ファンの間ではカルトの人気を誇るものの、1991年にバウスシアターで限定的に上映されたのみ。ビデオやDVDも未発売となっていた本作が、製作から27年/日本初公開から23年の時を経て、遂にスクリーンに甦る。プロデューサーはジョージ・ハリスン。「イス・イット・ヘヴン・イット?」(84)に続き、バウスシアターが配給を手がけた作品で、近年でも「もう観ることはできないのか?」と劇場ヘリクエが寄せられることが多かった。ストーリー:1969年、「スウィングン・ロンドン」の狂騒も陰りの気配を見せ始めた頃。役者志望の「僕」とウィズネイルは、アルコールとドラッグの日々とうんざりしつつも解決の道はなく、何とかなるステップをと、ウィズネイルの叔父のコーチングへ向かう。もちろんそこでも何かが変わるわけではない。いくつもの奇妙な出来事の果てにふたりは再びロンドンへと向かう。そのどうにもならない閉塞感、ある時代の終わりを確実に浮かび上がらせていく。監督の自伝的作品とも言われている。

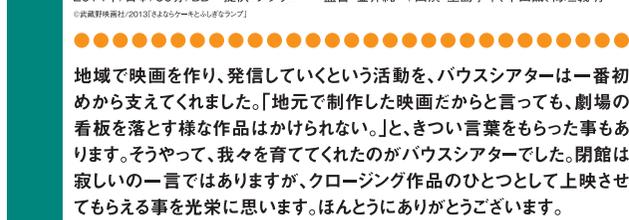


●5/3(土祝)~31(土)ロードショー

【ロードショー】

さよならケーキとふしぎなランプ

夜更けのカフェをやさしく照らすランプの灯りが 人と人、そして心と心をつないでゆく。ぴあ初日満足度ランキング1位を獲得した「あんてるさんの花」に続く、むさしのファンタジーシリーズ最新作。主演の此野岸(このぎし)役には、今回が俳優初挑戦のミュージシャン・堂島孝平。パティシエを目指すヒロイン・波奈美アキ役に、平田薫。アキの父・和義を演じるのは梅垣義明。監督は、新鋭・金井純一。吉祥寺の街を舞台に贈る、珠玉のヒューマン・ファンタジーが誕生した。2014年/日本/90分/BD 提供:ブラウニー 監督:金井純一/出演:堂島孝平、平田薫、梅垣義明 ©武蔵野映画社(2013)「さよならケーキとふしぎなランプ」



●4/26(土)~5/9(金)、シアター3にてロードショー

地域で映画を作り、発信していくという活動を、バウスシアターは一番初めから支えてくれました。「地元で制作した映画だからと言っても、劇場の看板を落とす様な作品はかけられない。」と、きつい言葉をもらった事もあります。そうやって、我々を育ててくれたのがバウスシアターでした。閉館は寂しい一言ではありますが、クロージング作品のひとつとして上映させてもらえる事を光栄に思います。ほんとうにありがとうございます。(松江勇武/プロデューサー)

Bプログラム「第7回爆音映画祭」

●5/2(金)21:00 大友良英による大編成爆音ノイズ・プロジェクト 「コア・アノード」ライブ

11人のミュージシャンがPA無しで繰り広げる音の渦。久々のコア・アノードの爆音ノイズを堪能あれ。

大友良英/Guitar、JOJO広重/Guitar、大島輝之/Guitar、美川俊治/Electronics、Sachiko M/Sinewaves、かわいしのぶ/Bass、山本達久/Electric-Drums、一楽誉志幸/Drums、植村昌弘/Drums、藤掛正隆/Drums、千住宗臣/Drums

大友良英

ギタリスト、作曲家として国内外を問わず幅広く活動中。また、『あまちゃん』をはじめ映像作品のサウンドトラックも数多く手がける。近年は、東日本大震災を受け、文化の側から自らが暮らした福島への支援を目指す「プロジェクト FUKUSHIMA」を主催している。



写真：宇藤美行

●5/3(土祝)15:30 ゴジラ伝説 LIVE 2014 (併映：『わんぱく王子の大蛇退治』)

20世紀の終わりに突如沸き起こったゴジラ復活ブームと作曲家伊福部昭の再評価。その先駆けとなったゴジラ・リスペクトアルバム『ゴジラ伝説』が、ゴジラ公開60周年、伊福部昭生誕 100周年の今年、爆音ライブで蘇る。

井上誠/Syn、巻上公一/Vo、マリアンス東雲/Vo
ともだしんご/Highleads Drs、不気味社/Chor



イラスト：黒田明彦

わんぱく王子の大蛇退治

王子スサノオとお供のウサギが、亡き母がいるという「黄泉の国」を目指して旅する冒険アニメ。音楽は伊福部昭。「アメノウズメの舞」のシーンは、まるでスクリーン全体がダンスを踊っているかのよう！
1963年/日本/85分/35mm 提供：東映
東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品
監督：芹川有吾 音楽：伊福部昭
声の出演：住田知仁、岡田由紀子、久里千春
協力：東京国立近代美術館フィルムセンター

©東映

井上誠

ヒカシューのオリジナルメンバー。同じく元ヒカシューの山下康と結成したイノヤマランドで活動中。伊福部昭作曲の「ゴジラ」のサントラをカバーしたアルバム『ゴジラ伝説』は83年にリリース。その後2枚のアルバムが追加され、ゴジラだけではなく伊福部作品を広く深く取り上げるようになった。



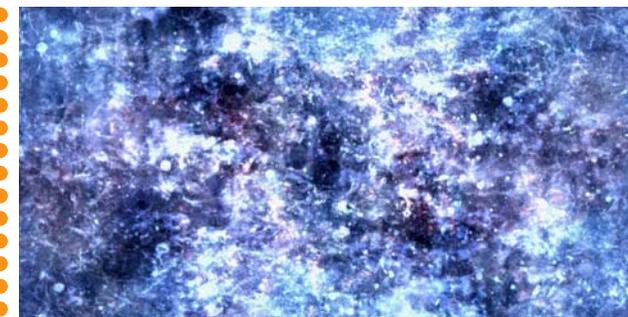
●5/6(火祝)15:35～単独上映あり

●5/9(金)21:00 牧野貴『Phantom Nebula』 生演奏付上映

日本では唯一実験映画を手がける作家として爆音映画祭に参加し続け、国内外の優れた作品を多く上映してきた牧野貴。パウスシアターで最後となる今回の舞台では、牧野の新作『Phantom Nebula』を、生演奏付きで世界初上映いたします。牧野の生み出す超抽象映像は、2Dや3D等既成ディメンションを超え、全く新しい領域において映画と音楽との大実験を試みます。ご期待ください。

時間：約80分(製作中)
演奏：牧野貴、Per Platu

- 牧野貴
- 2009年、「still in cosmos」が、世界最大の実験映画祭「25FPS 国際実験映画祭」でグランプリを獲得。その後も『光の絵巻』『Generator』『2012』などが世界各国の映画祭でグランプリを受賞。「実験映画」という枠、映画という枠をも飛び越えての作業を実践中。



●5月17日(土) 湯浅湾祭2014 13:15 Hair Stylistics 無声映画ライブ 15:45 直枝政広ライブ 併映：『喜劇 とんかつ一代』 19:30 湯浅湾ライブ

5月17日(土)は湯浅湾がお届けする賑やかで長閑な一日。とはいえ例によって当日まで何が起こるかわかりません。チケットは当日・前売共に、それぞれのライブのみの単券と、1日丸ごと使える1日券を用意しました。

13:15から開始予定のHair Stylisticsの無声映画ライブも、約22分の『ニースについて』(ジャン・ヴィゴ監督)しか決まっておらず、その他の作品は追って発表。毎日のことながら、いったいどんな展開になるのか、当日になってのお楽しみ。そして、『喜劇 とんかつ一代』!

これは、第1回爆音映画祭で「かえる目」のライブとともに上映されたのですが、今回は直枝政広のライブとともに。当日は、ソギー・チェリオスのアルバムにも収録された「とんかつの唄」のソロ・ヴァージョンも披露されるはず。15:45開始予定。夜の部は19:30開始予定の、湯浅湾のライブ。湯浅湾だけではなく、直枝政広、Hair Stylisticsもそこに加わる可能性あり。また、その他のゲストの可能性も。これらも追って発表。

また、それらのライブだけではなく、ロビーや1階のカフェを使っのフリー・マーケットや湯浅さんからのスペシャルなプレゼントなど、ライブを聴く映画を観るだけではない、ほんやりとゆったりとそこにある時間を楽しむ、そんな1日になってくれたらと願っております。



湯浅湾

音楽評論家である湯浅学を中心に結成されたロックバンド。歌心溢れる情緒的な歌謡ロックが持ち味。他のメンバーは、NRQの牧野琢磨(ギター)、相対性理論の山口元輝(ドラムス)、雑誌「STUDIO VOICE」の元編集長、松村正人(ベース)。アルバム『港』が発売中。



Hair Stylistics

小説家、映画評論家、画家としても活動する中原昌也による音楽ソロユニット。80年代後半から暴力温泉芸者として活動を開始し、97年からはHair Stylistics名義に。現在、08年の第1弾に続き隔月1枚のCDをリリースする「Monthly Hair Stylistics」の第2弾が進行中。



直枝政広

83年に結成されたロックバンド、カーネーションのリーダー。バンドとしての最新アルバムは12年リリースの『SWEET ROMANCE』。13年には、鈴木惣一郎とのユニット、ソギー・チェリオスを結成。そのアルバム「1959」には、今回上映する『とんかつ一代』の歌も収録。

ニースについて (Hair Stylistics 無声映画ライブ作品)

1930年/フランス/22分/35mm
監督：ジャン・ヴィゴ
協力：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

喜劇 とんかつ一代 (直枝政広ライブとセット上映)

高級洋食店と庶民的なとんかつ屋の確執を森繁久彌が歌う「とんかつの唄」などユーモラスな音楽とともに描いたコメディ。かえる目、ソギー・チェリオスが歌にまでしたその魅力を見非ここで確認あれ。
1963年/日本/94分/35mm 提供：東宝
監督：川島雄三/出演：森繁久彌、淡島千景、加東大介

©1963東宝



Marc Ribot

●5/4(日祝)15:00『街の灯』/21:00『紐育の波止場』
●5/5(月祝)15:00『紐育の波止場』/21:00『街の灯』
マーク・リボー 無声映画ライブ

爆音映画祭恒例の「無声映画ライブ」。パウスシアターでの最後となる本年はそのスペシャル・ヴァージョンとして、NYからマーク・リボーを迎える。自身のバンド「マーク・リボーと偽キューバ楽団」やエルヴィス・コストロなどの活動でも知られるリボーは、本国ではチャップリンなどの無声映画に音をつける「無声映画ライブ」を時々行っていたのである。今回は、そのパウス篇。本国では定番のチャップリン『街の灯』の他、本人からの希望でジョセフ・フォン・スタンバーグ監督の名作『紐育の波止場』を上演。1日2公演で2日間。この無声映画ライブのためだけの来日です。お見逃しなく! (協力:トムス・キャビン)

- マーク・リボー Marc Ribot
- ラウンジ・リザーズのメンバーとして、エルヴィス・コストロとの活動や、矢野顕子やSIONのアルバムへの参加でも知られる。ロック、ジャズなど、ジャンルを超えて活躍する稀有のギタリスト。2013年には自身のバンド「セラミック・ドッグ」として来日公演も行った。

街の灯
1931年/アメリカ/84分 提供：KADOKAWA
監督：チャールズ・チャップリン
出演：チャールズ・チャップリン、ヴァージニア・チェリル

紐育の波止場
1928年/アメリカ/90分
監督：ジョセフ・フォン・スタンバーグ
出演：ジョージ・バンクローフ、ベティ・カンパソン

Bプログラム「第7回爆音映画祭」

アトムス・フォー・ピース、ライヴ・アット・スタジオ・コースト
 昨年の東京公演の模様を爆音上映のために再編集したプレミアム版。トム・ヨークのファルセットボイスは勿論、フリーやジョーイ・ワロンカーら最強のリズム隊が響かせる低音を体感できる貴重な機会。
 2014年/日本/70(予定)分/BD
 提供:Hostess Entertainment
 編集:Shige Hamada (Open Stance)
 出演:アトムス・フォー・ピース



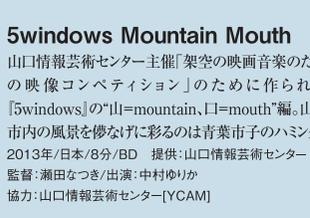
●5/13(火) 21:00 ●5/26(月) 18:45

ポータルX
 カラックスがここで拘泥するのは疾走の果ての転倒、転倒による垂直運動。その運動により穿たれた穴へ墮ちてゆく者たちを、衝突と反発を繰り返し混沌へなだれ込むS・ウォーカーの歪音が待ち受ける。
 1999年/フランス・ドイツ・スイス・日本/134分/35mm
 提供:ユーロスペース 監督:レオス・カラックス
 音楽:スコット・ウォーカー/出演:キョーム・ドナルド、ゲアリーヌ・ドヌーヴ、エカテリーナ・コルベラ、デルフィニス・ジュイヨー



●5/18(日) 15:20 ●5/30(金) 20:40

5windows
 それぞれの時空を生きる4人の男女が不意にすれ違う。たったそれだけのアクションから紡ぎ出される、かくも瑞々しい夏のドラマ。連沼執太による玩具箱をひっくり返したような音楽もベリーナイス。
 2012年/日本/40分/BD 提供:boid
 監督:瀬田なつき
 出演:中村ゆりか、斉藤陽一郎、長尾寧音、染谷将太



●5/19(月) 21:00

5windows Mountain Mouth
 山口情報芸術センター主催「架空の映画音楽のための映像コンペティション」のために作られた『5windows』の“山=mountain、口=mount”編。山口市内の風景を憐れに彩るのは音楽家市子のハンミング。
 2013年/日本/8分/BD 提供:山口情報芸術センター
 監督:瀬田なつき/出演:中村ゆりか
 協力:山口情報芸術センター[YCAM]



●5/22(木) 16:05 ●5/24(土) 20:40

キャスト・アウェイ
 無人島にたったひとり漂着した男のサバイバル生活とその後を描く“現代のロビンソン・クルソー”。本作をサーフィン映画として見るのが、爆音の使命である。どういう意味かは見てのお楽しみ!
 2000年/アメリカ/143分/BD 提供:boid
 監督:ロバート・ゼメキス
 出演:トム・ハンクス、ヘレン・ハント、クリストファー・ノークス
 “Triage courtesy of Paramount Park Circus.”



●5/15(木) 15:00 ●5/19(月) 13:30 ●5/31(土) 16:00

ソウルメン
 引退したふたりの中年シンガーが復活するまでを、涙と笑いと歌と暴力と愛とで一気に語る。完成を前に突然死したバーニー・マックの遺作。『ソウルマン』と言えばサム&デイヴ。ファン必見の物語。
 2008年/アメリカ/100分/DVD
 提供:カルチュア・パブリッシャーズ 監督:マルコム・D・リー
 出演:サムエル・L・ジャクソン、バーニー・マック、アイザック・ヘイズ、シャロン・リラー、ジョン・レジェンド
 ©2008 The Weinstein Company,LLC. All Rights reserved.



●5/16(金) 19:00 ●5/19(月) 16:30

シミラー バット ディファレント
 恋人たちの微妙な心のすれ違いを繊細に織った心理劇。監督を務めたのは人気が手俳優の染谷将太。渡邊琢磨による静謐なラテン音楽が、この無声映画的な味わいの作品にミステリアスな花を添える。
 2013年/日本/25分/BD 提供:MKVOXXXX
 監督:染谷将太/脚本:瀬田なつき/音楽:渡邊琢磨
 出演:平野鈴、染谷将太、bim ©2013 MKVOXXXX



●5/21(水) 18:00

ドクター・フィールグッド
 オイル・シティ・コンフィデンシャル -70年代初頭“オイルシティ”と呼ばれる町で誕生し、UKパブロックシーンを牽引したドクター・フィールグッドの歴史。末期が宣言後もライブ継続中のウィルコの鋭いカットニングがハウスに響き渡る!
 2009年/イギリス/104分/DVD
 提供:ボニー・キャニオン 監督:ジュリアン・テンブル
 出演:ドクター・フィールグッド ©Copyright 2009 Gate Music Ltd



●5/22(木) 18:30

ターミネーター
 説明不要のシュワちゃんの出世作。何も考えずバウスのど真ん中に座って、ひっきりなしに続くハチャメチャな攻防戦と爆撃音に体を預ければよし。これぞ爆音の醍醐味。別れの言葉は、“I'll be back”で!
 1984年/アメリカ/108分/DCP
 提供:カルチャヴィル 監督:ジェームズ・キャメロン
 出演:アーノルド・シュワルツェネッガー、マイケル・ビーン



●5/15(木) 18:00 ●5/18(日) 18:05

ドラキュラ
 コッパラ作品の中でもひととき異彩を放ち、それゆえに弾かれたままのドラキュラ映画。しかしもちろん、音景を上げれば尋常ならぬ音響世界が闇の中から出現する。爆音でこそ再発見されるべき怪作。
 1992年/アメリカ/127分/BD 提供:boid
 監督:フランシス・フォード・コッポラ
 出演:ゲイリー・オールドマン、ウィノナ・ライダー、アンソニー・ホプキンス、キアヌ・リーブス
 出演:ジョージ・グリノ、ナット・ヤング、リッチー・ウェスト
 “Triage courtesy of Sony Park Circus.”



●5/20(火) 18:30 ●5/29(木) 18:30

少年メリケンサック
 親父バンクバンドを担当することになった、女性マネージャーの災難をコミカルに描く宮藤官九郎監督作。宮藤が詞を、向井秀徳が曲を手かけた劇中歌は、劇場を出たら思わず口ずさみたくなる。
 2009年/日本/125分/35mm 提供:東映
 監督:宮藤官九郎/音楽:向井秀徳
 出演:宮崎あおい、木村祐一、勝地涼、田口トモロヲ、三宅弘城
 ©2009少年メリケンサック製作委員会



●5/21(水) 18:00

GET ACTION!!
 1993年から2年間だけ活動した伝説のバンド、TEENGENERATE。海外での人気が半端ない彼らの足跡を、当時の映像を織り交ぜながら辿る。まだこの音を知らないって人こそ観てほしい!その後の映画。
 2014年/日本/99分/BD 提供:日本出版販売
 監督:近藤原也/撮影:編集:川口潤
 出演:TEENGENERATE ©2014 NIPPAN KUNG RECORDS, All Rights Reserved.



●5/22(木) 20:45

シガー・ロス INNI
 過去の爆音上映がすべてソールドアウトとなったシガー・ロスのライブ作品が、待望の再上映!彼らが紡ぎ出す暗闇をゆめく光のような音の響きが、粒子の荒いモノクロの映像によって際立つ一作。
 2011年/イギリス/75分/DVD
 提供:Hostess Entertainment
 監督:ヴィンセント・モリセット/出演:シガー・ロス



●5/15(木) 20:20 ●5/26(月) 16:45

クリスタル・ボイジャー
 カメラを背負ったサーファーがとらえた波と空にピンクフロイドの「エコーズ」が鳴り響き、宇宙の果てまでサーフする、サーフィン映画の伝説。過去の爆音でも繰り返し上映された爆音殿堂入り作品。
 1972年/オーストラリア/アメリカ/79分/35mm
 提供:レドバック・コーポレーション
 監督:デヴィッド・エルフィック
 出演:ジョージ・グリノ、ナット・ヤング、リッチー・ウェスト
 “Triage courtesy of Hollywood Classics Ltd.”



●5/20(火) 21:10 ●5/31(土) 19:00

SAVE THE CLUB NOON
 2012年4月に風営法違反で摘発された大阪のクラブ「NOON」。この老舗クラブを救うべく開催されたイベント「SAVE THE NOON」を撮るその眼差しは、まさに「Fight for your right to party」の実践。
 2013年/日本/93分/BD
 提供:[SAVE THE CLUB NOON]製作委員会 監督:宮本杜朗
 出演:ハナレグミ、七尾旅人、いとうせいこう
 ILL-BOSTINO (THA BLUE HERB)、中納良恵 (EGG-WRAPPIN')
 ©[SAVE THE CLUB NOON]製作委員会



●5/23(金) 16:15

ファントム・オブ・パラダイス
 ロック界の帝王に、顔と恋人と曲を奪われた作曲家がファントムとなり復讐する。「オペラ座の怪人」がロックミュージカルとして蘇り、ホラー、ファンタジーと融合したカルトの傑作。念願の爆音上映。
 1974年/アメリカ/94分/BD 提供:boid
 監督:ブライアン・デ・パルマ
 出演:ポール・ウィリアムズ、ウィリアム・フィンレイ、ジェシカ・ハーバー、ジョージ・メロー、ゲリット・グレアム
 “Triage courtesy of Hollywood Classics Ltd.”



●5/25(日) 18:15 ●5/28(水) 16:30

ビースティ・ボーイズ 揺らればなし天国
 2004年10月4日のビースティ・ボーイズのライブ中、50人の観客は渡されたビデオカメラでの撮影を許可される。その臨場感あふれるアマチュアの映像は、1年間の編集期間を経て見事に「作品」となった。
 2006年/アメリカ/89分/35mm
 提供:アズミック・ユース 監督:ナサエル・ホンブローウ
 出演:ビースティ・ボーイズ ©2006 Seattle Boys. All Rights Reserved.



●5/23(金) 18:45 ●5/26(月) 14:45

飢餓
 内田裕也主演×若松孝二監督コンビによる、バイオレンス作。とはいえ音楽はレゲエ。当時、内田裕也がレゲエにぞっこんだったのだ。P・トゥッシュの「soon come」とともに空港に降り立つ主人公のシーンに鳥肌。
 1979年/日本/80分/35mm 提供:東映
 監督:若松孝二/音楽:ピーター・トゥッシュ
 出演:内田裕也、多々良純、水島彰子 ©東映



●5/28(水) 14:30

ミッシェル・ガン・エレファント
 “THEE MOVIE”-LAST HEAVEN 031011-「世界の終わりはそこで待ってる」、でも、ミッシェルの音は鳴り止まない。第3回爆音映画祭で多くのリクエストによって上映されたもうひとつの“ラスト・ワルツ”をラスト・ハウスでもう一度。
 2009年/日本/119分/BD 提供:日活
 監督:番場秀一 出演:ミッシェル・ガン・エレファント
 ©2012 Cathaya SH -Babe Films SAS



●5/24(土) 13:30 ●5/30(金) 15:45

ゼイリブ
 人知れず侵略されようとしているこの地球を、誰がどうやって救うのか? 誰が敵で誰が味方なのか? 不透明な現実を切り裂く孤独な戦いと連帯の記録は、まさに今この日本の物語として観ることが出来る。
 1989年/アメリカ/96分/35mm 提供:boid
 東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品
 監督:ジョン・カーペンター/出演:ロディ・パイパー、メグ・フォスター、キース・デヴィッド
 協力:東京国立近代美術館フィルムセンター



●5/28(水) 18:45

眠れる美女
 “こちら”と“あちら”の隔たりに執拗にこだわり続けるベロッキオは、「尊厳死」という生と死の狭間に横たわる身体の有り様をどのような映像と音響で捉えたのか? 「倫理とはカメラ位置の問題だ」。
 2012年/イタリア・フランス/115分/35mm
 提供:エスバース・サロウ/監督:マルコ・ベロッキオ
 出演:トニ・セルヴィッロ、イザベル・ユベール、マヤ・サンサ、ビエール・ジヨルジョ・ベロッキオ、アルバ・ロルヴァケル
 ©2012 Cathaya SH -Babe Films SAS



●5/26(月) 20:30 ●5/29(木) 14:30

SECRET

5/19(月) 18:45

5/24(土) 12:00

5/25(日) 12:00

5/29(木) 17:00

21:10

5/30(金) 14:00

5/31(土) 11:10

Cプログラム「LAST BAUS / LAST LIVE」

かつて吉祥寺バウスシアターは演劇、コンサート、落語会も上演される多目的な劇場でした。1984年4月にオープンして30年、残念ながら今年その歴史に幕を下ろしますが最後の最後バウスシアターに於いてさまざまなミュージシャンがコンサートを行います。最後のバウスシアターの思い出をみなさんの胸に刻み込んでください。

～Makoto Kubota Presents～
BLACK WAXのライブと映画『スケッチオプミヤーク』の上映
 トーク:久保田麻琴
6/1(日) 開場17:30 | 開演18:00
 トークゲスト:細野晴臣
6/2(月) 開場18:30 | 開演19:00
 トークゲスト:ピーター・バラカン
 前売・当日 ¥3,500

cero × VIDEOTAPEMUSIC
6/4(水)
 開場19:00
 開演19:30
 前売・当日 ¥3,500

石原洋with friends
 (石原洋+田畑満+北田智裕+山本達久) Guest: テニスコーツ、柴田聡子
6/5(木)
 開場18:30
 開演19:30
 前売・予約・当日 ¥3,000【★】

『ラストショー』
 佐藤GWAN博、高田漣、アーリー・タイムス・ストリングス・バンド、佐久間順平、倉沢桃子、ハチヤットウリアン楽団 etc
6/7(土)
 開場15:30
 開演16:00
 前売・当日 ¥3,500

～渋谷La.mama Presents～
『今宵、我らのギターは鳴り響く! Volume 6～9で。』
 Controversial Spark
 GRANDFATHERS. オワリカラ
6/9(月) 開場18:30 | 開演19:00
 前売・当日 ¥3,500

NRQ、ホライズン山下宅配便
6/3(火) 開場18:30 | 開演19:30
 前売・予約・当日 ¥2,800【★】

『山本精一のひとり爆音上映会』
 山本精一
6/6(金) 開場19:00 | 開演20:00
 前売・予約・当日 ¥3,000【★】

～BoGumboRosa Presents～
『映画、ブルース、ライブ、演劇、お笑い、プロレス、どんと、生、無くて有り得ない、その場に居なくてごめんなさい。』
 Dr.KyOn, 玉城宏志、黒川修、小関純匡、岡地曙裕、長見順、吾妻光良、うつみよこ
6/8(日)
 開場17:00
 開演17:30
 前売・当日 ¥3,500

渋谷さくらズオーケストラ
 (with 梅津和時、白崎映美)
6/10(火) 開場18:30 | 開演19:00
 前売・当日 ¥3,500



4/26(土)	4/27(日)	4/28(月)	4/29(火祝)	4/30(水)	5/1(木)	5/2(金)
タカダワタル的 11:30～(終)12:35	THE LAST BAUS × TERATOTERA10×10 +参加作家&宮沢章夫トーク 11:20～(終)13:30	注目すべき 人々との出会い 11:00～(終)12:50	吉祥寺の 朝日奈くん 11:00～(終)12:31	ゲーゲーだって 猫である 11:30～(終)13:26	シド・アンド・ナンシー 11:00～(終)12:53	書を捨てよ 町へ出よう 11:30～(終)13:48
注目すべき 人々との出会い 13:05～(終)14:55	鉄コン筋クリート 14:00～(終)15:51	ゲーゲーだって 猫である 13:20～(終)15:16	鉄コン筋クリート 13:00～(終)14:58	吉祥寺の 朝日奈くん 14:00～(終)15:31	アイデン&ティティ 13:30～(終)15:28	あんてるさんの花 14:20～(終)15:53
エルトポ +ホドロフスキー監督 トーク 15:30～(終)18:00	アイデン&ティティ 16:20～(終)18:18	書を捨てよ 町へ出よう 15:45～(終)18:03	シド・アンド・ナンシー 15:30～(終)17:23	あまっちょろい ラブソング 16:00～(終)17:37	タカダワタル的 16:00～(終)17:05	the fighting men's chronicle エレファントカシマシ ディレクターズカット 16:40～(終)18:48
ゴダール・ ソシアリズム 19:00～(終)20:42	フォーエヴァー・ モーツァルト 19:00～(終)20:25	映画史特別編 選ばれた瞬間 18:30～(終)19:54	オンリー・ ラヴァーズ・ レフト・アライヴ 18:00～(終)20:03	男として死ぬ 18:00～(終)20:14	アンナと過ごした 4日間 18:30～(終)20:04	大友良英による 大編成爆音 ノイズ・プロジェクト 「コア・アノード」 ライブ 21:00～(終)22:30
右側に気をつけろ 21:15～(終)22:36	映画史特別編 選ばれた瞬間 21:00～(終)22:24	ゴダール・ ソシアリズム 20:20～(終)22:02	ファイト・クラブ 20:30～(終)22:49	オンリー・ ラヴァーズ・ レフト・アライヴ 20:45～(終)22:48	ライブテープ 20:35～(終)21:49	

5/3(土祝)	5/4(日祝)	5/5(月祝)	5/6(火祝)	5/7(水)	5/8(木)	5/9(金)
ゴジラ伝説 LIVE 2014 併映: わんぱく王子の 大蛇退治 15:30～(終)18:05			PFF 『突撃!博多愚連隊 +教訓I』 13:20～(終)15:02	PFF 『ピクニック+UNK+ HIGH-SCHOOL-TERROR』 13:20～(終)14:51	PFF 『ハイウェイ61』 13:20～(終)15:02	PFF 『ダーク・スター』 13:20～(終)14:43
	マーク・リポー 『街の灯』 ライブ 15:00～(終)16:30	マーク・リポー 『紐育の波止場』 ライブ 15:00～(終)16:30	わんぱく王子の 大蛇退治 15:35～(終)17:00			
右側に気をつけろ 19:00～(終)20:21	シャウト 17:30～(終)18:57	ロッキー・ホラー・ ショー 17:30～(終)19:09	フック +黒沢清トーク 17:30～(終)20:30	プラットホーム 18:00～(終)20:31	シャッフル +ノイバウテン 半分人間 19:00～(終)20:23	リヴァイアサン 18:30～(終)19:57
ニール・ヤング /ジャーニーズ 20:50～(終)22:20	マーク・リポー 『紐育の波止場』 ライブ 21:00～(終)22:30	マーク・リポー 『街の灯』 ライブ 21:00～(終)22:30	出発 21:00～(終)22:30	シャウト 21:00～(終)22:27	BLUE ブルー 21:00～(終)22:14	牧野貴 『Phantom Nebula』 生演奏付上映 21:00～(終)22:30

5/10(土)	5/11(日)	5/12(月)	5/13(火)	5/14(水)	5/15(木)	5/16(金)
バットマン 13:15～(終)15:22	ブレス・ブラザーズ 13:20～(終)15:33	HOUSE ハウス 13:20～(終)14:48				フック 13:20～(終)15:42
バットマン リターンズ 15:50～(終)17:58	ニール・ヤング /ジャーニーズ 16:15～(終)17:42	バットマン 15:20～(終)17:27	極悪レミー 16:40～(終)18:30	HOUSE ハウス 15:00～(終)16:28	キャスト・アウェイ 15:00～(終)17:24	ブレス・ブラザーズ 16:15～(終)18:28
ブルーベルベット 18:30～(終)20:31	グレートフル・デッド ・ムービー 18:15～(終)20:26	バットマン リターンズ 18:00～(終)20:08	BELLRING 少女ハートの 6次元ギャラクシー 19:00～(終)20:30	ライブテープ 17:00～(終)18:15	ターミネーター 18:00～(終)19:48	ソウルメン 19:00～(終)20:40
ファイト・クラブ 21:00～(終)23:19	ソウル・パワー 21:00～(終)22:33	ケミカル・ブラザーズ :DON'T THINK 20:40～(終)22:05	アトムス・ フォー・ピース ライブ・アット・スタジオ・コースト 21:00～(終)22:10	ラスト・ワルツ 19:00～(終)20:56	シガー・ロス INNI 20:20～(終)21:35	ソウル・パワー 21:10～(終)22:43

5/17(土)	5/18(日)	5/19(月)	5/20(火)	5/21(水)	5/22(木)	5/23(金)
Hair Stylistics 無声映画ライブ 13:15～(終)14:45	アンダーグラウンド 12:00～(終)14:51	キャスト・アウェイ 13:30～(終)15:54	BLUE ブルー 14:00～(終)15:14		ゆらゆら帝国 2009.04.26LIVE @日比谷野外大音楽堂 14:00～(終)15:35	77BOADRUM 14:00～(終)15:29
直枝政広ライブ 併映: 喜劇 とんかつ一代 15:45～(終)18:15	ポーラX 15:20～(終)17:34	ソウルメン 16:30～(終)18:10	極悪レミー 16:00～(終)17:50	愛のむきだし 13:30～(終)17:27	デス・ブルーフ in グラインドハウス 16:05～(終)17:58	SAVE THE CLUB NOON 16:15～(終)17:48
	ターミネーター 18:05～(終)19:53	シークレット 18:45～	ドラキュラ 18:30～(終)20:38	少年メリケンサック 18:00～(終)20:05	ドクター・ フィールグッド オイル・シティ・ コンフィデンシャル 18:30～(終)20:14	ピースティ・ボーイズ 撮られっぱなし天国 18:45～(終)20:14
湯浅湾ライブ 19:30～(終)21:30	ロッキー・ホラー・ ショー パフォーマンズ付 20:30～(終)22:40	5windows シミラーバット ディファレント 21:00～(終)22:15	クリスタル・ボイジャー 21:10～(終)22:29	グレートフル・デッド ・ムービー 20:45～(終)22:56	GET ACTION!! 20:45～(終)22:24	ケミカル・ブラザーズ :DON'T THINK 20:45～(終)22:10

5/24(土)	5/25(日)	5/26(月)	5/27(火)	5/28(水)	5/29(木)	5/30(金)
シークレット 12:00～	シークレット 12:00～					
ミッシェル・ ガン・エレファント "THEE MOVIE"-LAST HEAVEN 031011- 13:30～(終)15:29	愛のむきだし 13:30～(終)17:27	ピースティ・ボーイズ 撮られっぱなし天国 14:45～(終)16:14	AKIRA 35mm版 14:30～(終)16:34	餌食 14:30～(終)15:50	眠れる美女 14:30～(終)16:24	シークレット 14:00～
ゆらゆら帝国 2009.04.26LIVE @日比谷野外大音楽堂 16:00～(終)17:35		シガー・ロス INNI 16:45～(終)18:00	アンダーグラウンド 17:15～(終)20:06	ファントム・ オブ・パラダイス 16:30～(終)18:04	シークレット 17:00～	ミッシェル・ ガン・エレファント "THEE MOVIE"-LAST HEAVEN 031011- 15:45～(終)17:44
AKIRA 35mm版 18:05～(終)20:09	ファントム・ オブ・パラダイス 18:15～(終)19:49	アトムス・ フォー・ピース ライブ・アット・スタジオ・コースト 18:45～(終)19:55		ゼイリブ 18:45～(終)20:21	ドラキュラ 18:30～(終)20:38	ラスト・ワルツ 18:15～(終)20:11
デス・ブルーフ in グラインドハウス 20:40～(終)22:33	ロッキー・ホラー・ ショー パフォーマンズ付 20:30～(終)22:40	眠れる美女 20:30～(終)22:25	77BOADRUM 20:45～(終)22:14	シャッフル +ノイバウテン 半分人間 20:45～(終)22:08	シークレット 21:10～	ポーラX 20:40～(終)22:54

5/31(土) 予告なし/本編より シアター1 (220席) ※シークレット作品は4月下旬に爆音映画祭公式HPにて発表いたします。 * = 爆音上映

『ウィズネイルと僕』
5/3(土祝)～5/31(土)ロードショー
上映時間は劇場まで

『さよならケーキとふしぎなランプ』
4/26(土)～5/9(金)ロードショー
上映時間は劇場まで

Cプログラム(LAST BAUS / LAST LIVE)スケジュール

6/1(日)18:00 ～Makoto Kubota Presents～ BLACK WAXのライブと映画『スケッチオブマーク』の上映
6/2(月)19:00 6/1トークゲスト:細野晴臣 6/2トークゲスト:ピーター・バラカン

6/3(火)19:30 NRQ、ホライズン山下宅配便 6/4(水)19:30 cero × VIDEOTAPEMUSIC

6/5(木)19:30 石原洋with friends、テニスコーチ、柴田聡子 6/6(金)20:00 『山本精一のひとり爆音上映会』山本精一

6/7(土)16:00 『ラストショー』 佐藤GWAN博、高田漣、アーリー・タイムス・ストリングス・バンド、佐久間順平、倉沢桃子、ハチャウリアン楽団、etc

6/8(日)17:30 ～BoGumboRosa Presents～
『映画、ブルース、ライブ、演劇、お笑い、プロレス、どんと、生、無くして有り得ない、その場に居なくてごめんさい。』

6/9(月)19:00 ～渋谷La.mama Presents～『今宵、我らのギターは鳴り響く! Volume 6～9で。』

6/10(火)19:00 渋谷知らズオーケストラ (with 梅津和時、白崎映美)